

⑨ 林の中でゲーム

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・普段見慣れている木や木の葉を、遊びを通してよく観察し、親しみを感じてほしい。
- ・自然の中で遊ぶ心地よさを感じてほしい。

2 実施時期：一年中

3 実施場所：野外（学校林・校庭・公園）

4 対象学年：低学年、中学年

5 関連教科：生活科、総合、理科

6 時間数：1～2時限

7 事前準備

- ・公園管理者への申請（必要な場合）
- ・フィールドの下見
- ・「目」や「吹き出し」用の紙の用意

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：「目」や「吹き出し用」の紙、ネームペン
どんぐりクラブ：ボランティア袋（ゴミ拾い用）

(2) 授業の流れ

① あいさつ

② ゲームをする

(例示)

a. 「何の音」

- ・1分間、耳をすまして、音が何個聞こえるか数える。
- ・次に何種類の鳥の音が聞こえるか数える。

b. 「ジャンケンで落ち葉」

- ・近くの人とジャンケンをして、勝ったら葉っぱを1枚拾う。同じ種類の葉っぱは拾わないようにする。葉っぱを5枚拾ったらリーダーの前に並ぶ。
- ・拾ってきた葉を同じ種類ごとに集めて観察し、気がついたことを話し合う。

c. 「木はなんと言っているのかな」

- ・ネームペンなどと目と吹き出しを書く紙を配る。
- ・自分のお気に入りの木を見つけ、触ったりして、木が何と言っているか考え、紙に目玉を書いたものと吹き出しに言葉を書いたものを貼って木におしゃべりをさせる。
- ・皆で見て回る。
- ・貼った紙をそれぞれ回収する。

③ 終わりのあいさつ

9 備考

- ・時間や場所によっては、例示したゲームのうち3つではなく2つだけ実施するなど工夫できる。
- ・ゲームの内容は他にもある。



<木に目をつけている>